

参加者募集

リバーサイドウォーキングⅢ

初夏の川沿いの景色はどんな様子でしょうか歩いて見て触れてください

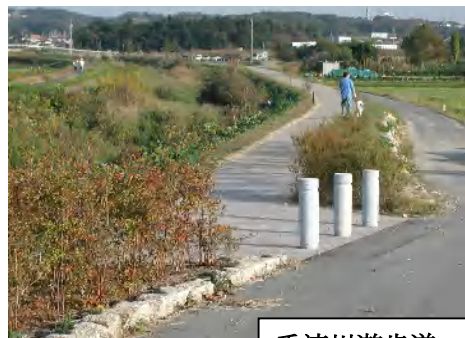
朝晩の寒さにも耐えて桜のつぼみは日中の暖を敏感に感じ取り4月になれば当然のように開花してきました。例年4月29日(祝)に開催していましたが今回は一ヶ月遅らせて5月29日(日)の開催といたしました。長久手町を流れる香流川は町民憩いの散歩道として多くのファンがいます。今回は初夏の香流川のリバーサイドを歩き、上郷にある寺院・神社をめぐり歩いて、新たな長久手を発見していただきたいと思います。お帰りはあぐりん村と長久手温泉にお立ち寄り下さい。

5月29日(日)午前9時 長久手町福祉の家南側B駐車場 集合・出発 帰着予定:午前11時30分

コース：福祉の家⇒香流川遊歩道⇒多度社⇒神明社⇒宗延寺⇒三光院⇒永見寺⇒福祉の家
参加費無料・当日参加も大歓迎 おやつ、飲み物付

雨天の場合:中止になります

参加申し込み・問合せ :長久手町商工会 0561-62-7111



香流川遊歩道

香流川遊歩道

:万博開催に合わせ、遊歩道として整備されました。香流川は長久手町内を源流とし、モリコロパーク内にある小川、湿地、ため池は水源として大きな役割を担っています。名古屋市内に至り庄内川に。

多度社：石造の鳥居は1661年建造、毎年7月の第二日曜頃、前熊の「お天王祭」には山車が引き出され、「ひちやま」～「しゃぎり」まで8曲、

前熊・打ち囃し太鼓の演奏がされる。

南方に、前熊寺(「ぜんのおうじ」1536創建)あり。

神明社：石造の鳥居は1662年建造、神域には神明1号墳から4号墳の6・7世紀の円墳が四基あり。県道(グリーンロード)脇には神明2号墳があります。社殿の注連縄は不思議な形をしていました。

宗延寺：境内には棒の手・起倒流七師匠の顕彰碑

(1899)、並んで錠米記念碑、隣の手水石は、町内で二番目に古い(天明7年1787)。新たに親鸞聖人の大きな銅像が立っていました。

三光院：大草地区にあり、1438年の創建、城東西国三十三観音、33番札所。(一番札所は岩作、色金山ふもとの安昌寺)

湧水の豊富な大草地区では、猿投山に降った雨が伏流水となり、100年の時を経て、地下約80メートルから自噴する。この地区では「掘り抜き」井戸という。

永見寺：室町時代末期の創建、円空仏・木造薬師如来坐像があります。

熊野社：永見寺の山門と並んで建つ熊野社の参道石柱。熊野社の脇を東に抜けると大草城址：明治13年編纂の熊張村史は、「東西23間、南北24間面積605坪今は皆陸田となりその四至殆んど峻絶す」と伝え、今は標示のみ。わきの峠を越えると、権道寺の坂が見える。「権道寺の四季桜」大草村史に「溝の杵池の堤に一株ありて、二本に育ち通行人の人珍し珍しく見ていく・・・」と記述



神明社社殿の注連縄



多度社の山車



宗延寺・親鸞聖人立像



熊野社の山門を守る常夜灯